

地域連携推進会議（事業所見学会）

日時：令和7年6月28日（土）13時～15時

参加者：地域の住民の方々

- ・坂本香様
- ・酒井様ご家族3名（お名前は本人希望で記載なし）

議事録

見学時に頂戴したご意見・ご要望と回答

- ・GHリーベはどんなところなのか？

⇒精神・身体・発達の障害のある方々が日中はお仕事や地域活動へ参加し、地域との関わりを持ちながら集団生活を通して、自己の健康・作業・管理をする力を身に付けて頂く場所です。

- ・どんな利用者が居るのか？

⇒精神障害の手帳をお持ちの方が4名、知的障害の方が4名の計8名いらっしゃいます。
2室空きがあります。

- ・ショートステイの利用はできるのか？

⇒可能でございます。お部屋が空いている限りは利用できますので、いつでもご連絡下さい。

- ・施設があることは知っていたが、なかなか見学する機会が無かった。
今回のような機会があると嬉しい。

⇒ありがとうございます。今後も定期的に見学会や交流会も出来る様にしていきたいと思っております。

- ・自分は他の障害者施設で送迎の仕事をしている。たかが送迎だが、接し方が分からなくて困ることが多いし、職場の人にもなかなか聞けない。障害のある人は「できるのに甘える」人が多いとも感じるがリーベのスタッフ（竹内）はどういう思いで仕事をしているのか？

⇒接し方については、正解が分からず苦慮しながら日々働いているところです。時には間違えていることもあるかと思っております。それでも、最終的にご利用者様の成長につながる接し方というものを念頭に日々働いています。

「出来るのに甘える」という事は障害の有無に関わらず、多かれ少なかれ人はあると思っていて、

「10出来る人が4しかやらない」という捉え方はせず、「4までやったこと」をまず認める。

そのうえで、「4までできたから次は5まで出来ると思うんだけど、頑張ってみませんか？」といった形で少しずつ持っている力を発揮できるような対応を心掛けています。

ここはある意味職員の忍耐力みたいなものが必要かもしれないです。

今後の展望

- ・今回のご意見を踏まえて、定期的な見学・交流会を実施していけるようにする。
- ・地域の方とのつながりをより持てるように清掃等タウン本庄の為になることを継続実施していく。